

# Ensemble Berlin

## アンサンブル・ベルリン コンサート

### ■メンバー

フィリップ・ポーネン(第一ヴァイオリン)  
クリストフ・フォン・デル・ネーマー(第二ヴァイオリン)  
マルティン・フォン・デル・ネーマー(ヴィオラ)  
クレメンス・ヴァイゲル(チェロ)  
ウルリッヒ・ウォルフ(コントラバス)  
クリストフ・ハルトマン(オーボエ)  
モル・ピロン(ファゴット)

### ■演奏予定曲目

〈第一部〉 ~モーツァルトの作品~  
モーツァルト:歌劇『魔笛』KV.620より序曲、夜の女王のアリア  
モーツァルト:弦楽のための「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」ト長調KV.525  
モーツァルト:オーボエ四重奏へ長調KV.370  
〈第二部〉  
ピアノラ:「ル・グラン・タンゴ」「オブリヴィオン(忘却)」「アヴェ・マリア」  
モリコーネ:映画『ミッション』より「ガブリエルのオーボエ」他

※やむを得ず、曲目が変更となる場合がございます。予めご了承下さい。

平成22年 **10月26日(火)**

開演:午後7時00分(開場:午後6時30分)

入場料:— 一般 3,000円(当日3,500円)

高校生以下 1,000円(当日1,500円)

〈全席自由〉

会場: **あえりあ遠野交流ホール**

### ◆プレイガイド

とびあ、遠野風の丘、グランドインテリア  
みやもりホール、みやもりmm1  
遠野市民センター、各地区センター

主催◆遠野市、遠野市教育委員会

協賛◆(財)遠野市教育文化振興財団

お問い合わせ◆遠野市民センター

社会教育課芸術振興係

☎0198-62-4413(内線277)



# Ensemble Berlin アンサンブル・ベルリン コンサート

「リラックスした雰囲気の中で、最高レベルの音楽を作ろう」—ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の有志たちによって、アンサンブル・ベルリンは結成された。結成のきっかけとなったのは1999年、ドイツで行われたランツベルグ夏の音楽祭(Landsberg Summer Music Festival)である。この小さくも洗練された室内楽のフェスティバルに参加するために集まった演奏家たちは演奏後、同じメンバーで再演することを熱望、そして誕生したのがアンサンブル・ベルリン。結成後、バイエルン放送局がコンサートを収録、この放送を機にドイツ国内外から注目を浴びることになる。2006年にはベルリン・フィルの室内楽グループとして、正式に仲間入りを果たし、ヨーロッパ、中国、日本にてコンサートツアーを行った。

彼らの演奏に制限はない。五重奏団や八重奏団、九重奏団での伝統的な室内音楽の演奏、また、ストリングスを追加してのチェンバー・オーケストラとしての演奏など、彼らの演奏スタイルは柔軟性に富み、演奏曲目は古典からロマン派、現代音楽まで多岐にわたる。数多くあるクラシック音楽の定番作品に加え、ウォルフガング・レンツ編曲の曲など、それまで常識とされてきた音楽解釈とは違い、アンサンブル・ベルリンのために独自に作曲された作品なども演奏している。親しみやすく、それでいて新しい音楽解釈と演奏法、音色、そして心から楽しめる彼らの雰囲気は、まさにランツベルグ夏の音楽祭に端を発するものであり、彼らは、純粋に楽しむことができ、且つ質の高い音楽をコンサートホールにも持ち込んでいるのである。演奏後は、ランツベルグの夜のキャンプファイヤーにて純粹な暖かい雰囲気が余韻を残すように、その楽しい空気が人々の心に長く留まる。



**フィリップ・ボーン**  
Philipp Bohnen(第一ヴァイオリン)

2007年ベルリン・フィル入団。ベルリン・ハンス・アイスラー音楽大学にてステファン・ピカル氏とアンティエ・ヴァイトハース氏に師事。ドイツ連邦青少年音楽コンクール優勝。ソリストとしてカメラータ・ハンブルクやユース・オーケストラ・オブ・ベネズエラ、ハンブルク・ハイデンオーケストラなどと共演。



**クリストフ・フォン・デル・ネーマー**  
Christoph von der Nahmer(第二ヴァイオリン)

1997年ベルリン・フィル入団。トーマス・ブランティス氏に師事し、1998年ベルリン芸術大学に入学。ドイツ連邦青少年音楽コンクールにて2位。ワールド・ユース・オーケストラの奨学金生として、国際的な経験を積む。ベルリン交響楽団などの有名なオーケストラのソリストとしても活動。アンサンブル・ベルリンのほか、ベルリン・フィルの「10人のヴァイオリン」にも所属している。



**マルティン・フォン・デル・ネーマー**  
Martin von der Nahmer(ヴィオラ)

2004年ベルリン・フィル入団。コンラート・グランエ氏師事の下、ヴァイオリンからヴィオラに転向。ドイツ連邦青少年音楽コンクールで優勝。ソリストとしてフィルハーモニア・ファンガリア、ノルトライン・ヴェストファーレン・ユース・オーケストラと共演し注目される。ベルリン芸術大学にてハルトムート・ロイデ氏に師事。現在は同大学の助教授として教鞭を執る。



**クレメンス・ヴァイゲル**  
Clemens Weigel(チェロ)

ウィーン高等音楽院にてアンドレ・ナヴァラ氏に、ミュンヘンではヴァルター・ノータス氏に師事。1994年博士号取得。同年イタリアのフィナーレ・リーグ国際コンクールにて優勝。現在はソリストとして活躍する傍ら、ミュンヘンのゲルトナー・ブラッツ州立劇場オーケストラ、ロティン四重奏団のメンバーとしても活動中。

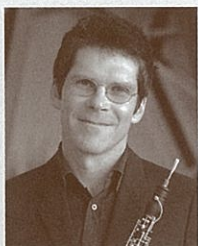
## Member Profile

メンバープロフィール



**ウルリッヒ・ウォルフ**  
Ulrich Wolff(コントラバス)

1978年、カラヤン時代のベルリン・フィル入団。1977年、バーンスタイン指揮のワールド・ユース・オーケストラに参加。チェリビダック指揮のシュトゥットガルト放送交響楽団では第一奏者として活躍、またパイロイト祝祭管弦楽団でも演奏している。室内楽ではアイザック・スターンやクリスティアン・ツィメルマン、ベルリン・フィルハーモニア四重奏団などと共演。2005年以降クラウディオ・アバド氏によって創設されたグスタフ・マーラー・アカデミーで教鞭を執っている。



**クリストフ・ハルトマン**  
Christoph Hartmann(オーボエ)

1992年ベルリン・フィル入団。レオポルト・モーツァルト音楽院にてゲオルク・フィッシャー氏に師事。1984年、ミュンヘン音楽大学に進学。ギュンター・バッシン氏の下、オーボエと室内楽の修士号を取得。シュトゥットガルト・フィルハーモニー管弦楽団でキャリアを積んだ後、ベルリンへ移る。1999年のランツベルグ夏の音楽祭を機に発起人となりアンサンブル・ベルリンを結成。オーボエ奏者としてEMIと契約、昨年アルバムをリリースした。現在はソリストとして活動する傍ら、ベルリン・フィルハーモニー・アカデミーにて教鞭を執る。



**モル・ビロン**  
Mor Biron(ファゴット)

2007年ベルリン・フィル入団。イスラエル出身。イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団のレーダーマンに師事。エルサレムの音楽アカデミーでファゴットを学ぶ。アメリカ・イスラエル文化財団、パレンボイム=サイド基金からの支援を受け、グスタフ・マーラー・ユース管弦楽団、ベルリン交響楽団などで演奏。ベルリン・フィル入団前はロリン・マゼール指揮のソフィア王妃記念室内オーケストラでソリストを務めていた。